

事務事業名	水田農業経営安定推進緊急対策事業補助金	所属部	農林振興部	所属課	農政課
政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	農業G	課長名	細木浩之
施策名	〈34〉農業の振興	担当者名	野々村一彦	電話番号	0854-40-1051
目的: 対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2415
基本事業名	〈099〉安全・安心で売れる農畜産物の生産	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 新型コロナウイルス感染症対策事業	項 目 中事業 中事業名	水田農業経営安定推進緊急対策事業補助金
目的: 対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産する。		

## 1 現状把握【DO】

## (1) 事業概要

① 事業期間	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
<p>目的: 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている水田園芸に取り組む農業者の緊急対策として、継続的な取組を支援</p> <p>対象者: 産地交付金を受けて水田園芸に取り組んでいる農業者</p> <p>補助金額: 水田園芸の取組品目に対して、それぞれ10aあたりの単価を設定し、支援する。</p> <p>【財源: 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】</p>	

## (2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動)	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動)				
	補助金交付					
② 活動指標		単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
ア	申請件数	件			200	
イ						
ウ						
エ						

## (3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	市内の農家	ア 農家戸数	戸			3,257	
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	農業経営の継続	ア 補助金交付件数	件			200	
		イ					
		ウ					

## (4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
補助金申請200件 3,106千円	財源内訳	千円			3,106	
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			3,106	
	人件費	人			1	
	正規職員従事人数	時間			30	
	延べ業務時間	千円			126	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			3,232	

## (5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている水田園芸に取り組む農業者に対する緊急支援が必要になった。	特になし。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている水田園芸に取り組む農業者から緊急支援の要望があった。

事務事業名	水田農業経営安定推進緊急対策事業補助金	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
B 有効性	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
C 効率性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
D 公平性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急支援であり、成果の向上余地はない。	
E 有効性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急支援であり、支援がなければ農家の廃業につながる。	
F 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 理由 要綱に基づき実施している。	
G 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急支援であり、事業費の削減はできない。	
H 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最低限の人数で対応している。	
I 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 市内の農業者に対する緊急支援であり、公平・公正である。	
J 評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 要綱に基づき実施している。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
令和2年度単年度事業である。																						